

平成27年度 再評価委員会

路線名：主要地方道 相知山内線
(武内工区)

事業名：道路整備交付金事業

事業地：武雄市武内町真手野

(再評価実施後5年が経過)

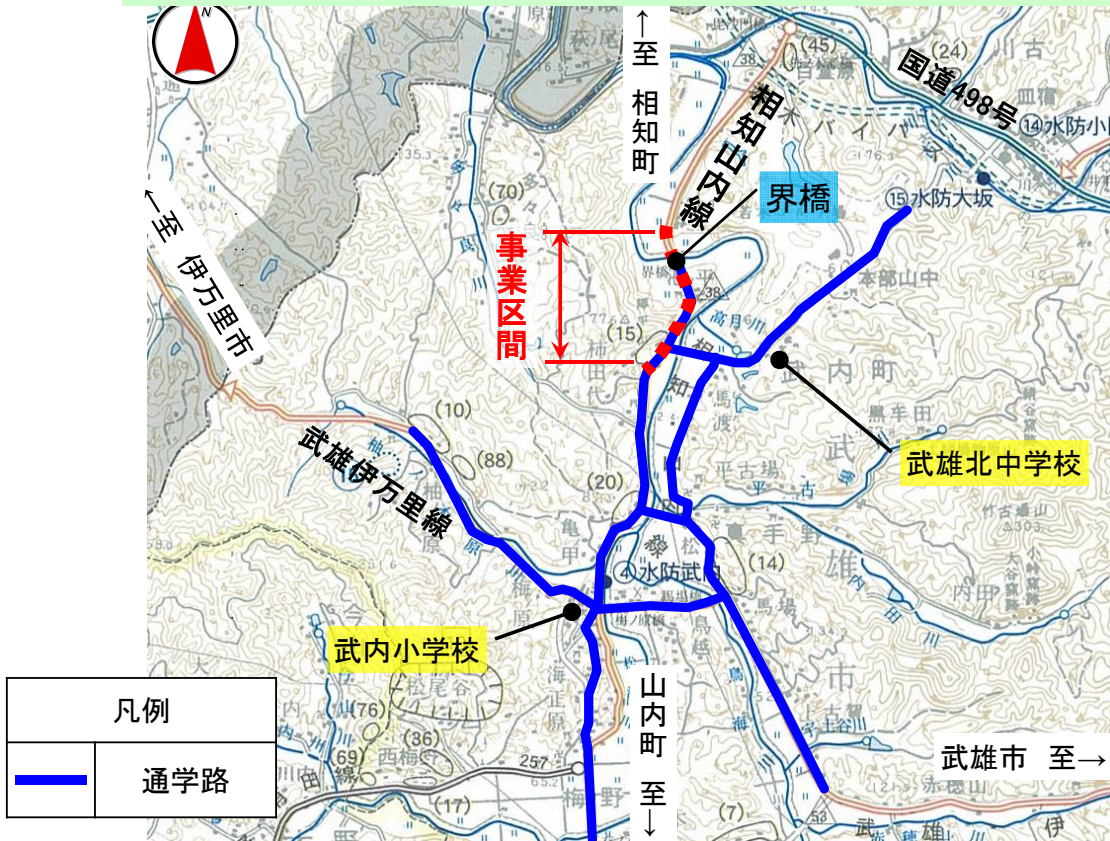
1

主要地方道 相知山内線 位置図



2

通学路指定



3

事業目的



4

事業概要

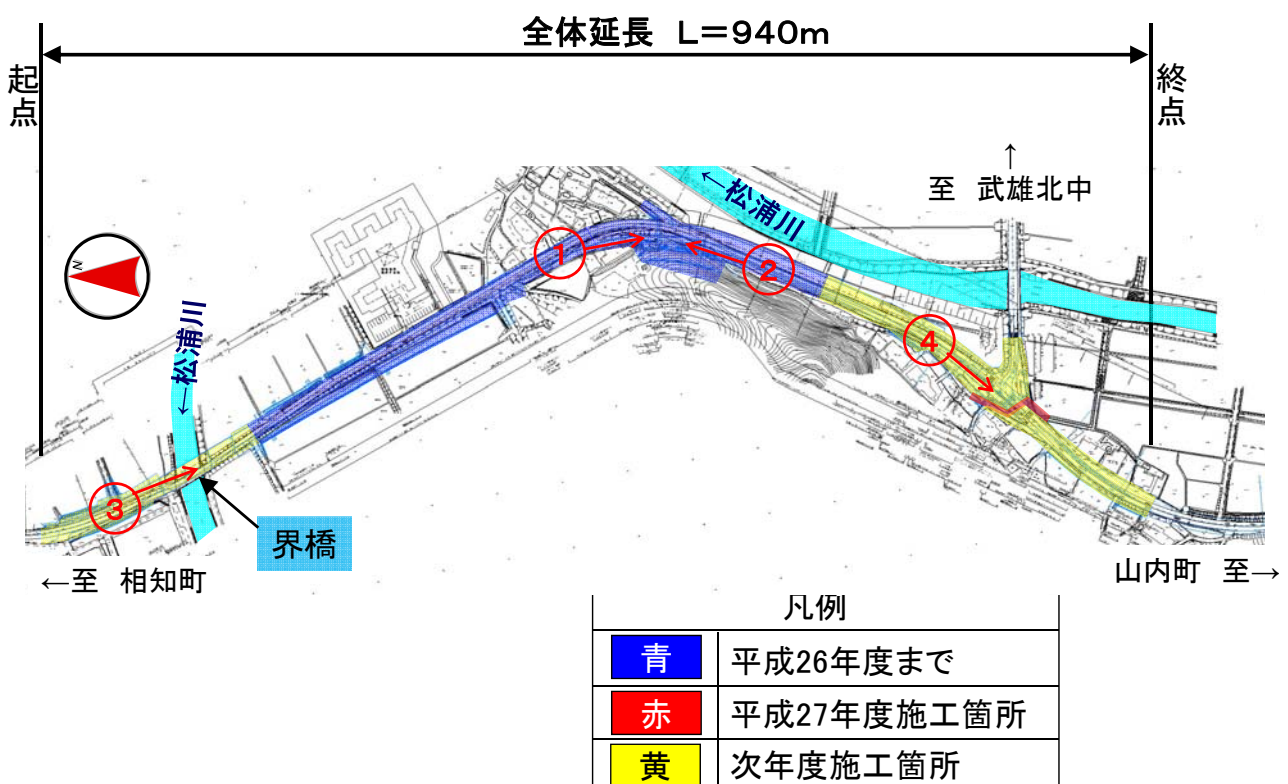
- 全体事業費：8.3億円
- 工期：平成13年度～平成32年度
- 全体延長：L=940m
- 事業内容：改良工 L=940m
 用地買収 5,348㎡
 家屋補償 6戸

事業の進捗状況

	平成26年度まで	平成27年度	平成28年度以降
事業費(億円)	4.5	0.2	3.6
進捗率(%)	54.2	56.6	100.0
用地進捗率(%)	95.7	96.0	100.0

5

主要地方道 相知山内線 平面図



6

H27年度 現地状況

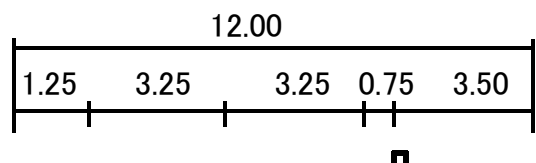
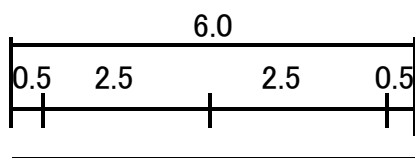


7

主要地方道 相知山内線 横断図

現況

計画



8

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の推移
H17 3,604台／日
H22 3,595台／日
- 佐賀県においては1世帯当たりの自動車保有台数が九州、全国の平均を上回っており、自動車への依存度が高く、人口減少の傾向にもかかわらず、交通量は横ばいとなっている。

9

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比}(B/C) = 11.1 / 9.1 = 1.2$$

【便益B】

走行時間短縮便益	=	7.3億円
走行経費縮小便益	=	2.8億円
交通事故減少便益	=	1.0億円
合計		11.1億円

【費用C】

事業費	=	8.6億円
維持管理費	=	0.5億円
合計		9.1億円

※基準年における現在価値

10

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

11

対応方針(事業課案)

- ・ 計画区間は武内小学校及び武雄北中学校の通学路に指定されており、近隣には製鋼工場や運輸会社があり大型車の通行が多い。
- ・ しかしながら、現況は線形不良箇所があり、歩道未設置区間があるため、依然として危険な状況であることから、交通の円滑化と歩行者の安全性向上のため、引き続き事業を継続したい。

12